

本の分類について（背ラベルのみかた）

図書館にはたくさん本があるので、仲間分けをしておくとしやすくなります。岐阜市立図書館の本は、分類記号と図書記号を使って仲間分けをしています。（レシートには「背ラベル」と書かれています。）分類記号について調べてみましょう。

1. 図書館では本をどうやって分類しているの？

日本の図書館では、「日本十進分類法」という本を分けるためのルールにしたがって分類をしています。これは、0・1・2・3・4・5・6・7・8・9の10個の数字を使ってすべての本を分けるやり方です。

0から9のどの数字が何の仲間を表すかは下の表のとおりです。

0 類	全般、百科事典など	5 類	技術など
1 類	哲学、宗教など	6 類	産業など
2 類	歴史、地理など	7 類	芸術、体育など
3 類	社会科学など	8 類	言語、文章など
4 類	自然科学など	9 類	文学など

でも、この10種類だけではまだまだ分類しきれない…！？
安心して下さい。10に分けたものを、さらに内容によって10に分け、それをまた10に分け……細かい仲間分けをしています。

まずは0から9までの分類を参考に、どのような仲間分けがしてあるのか本棚を見てみましょう。

2. 分類記号は本のどこについているの？ どんなかたちなの？

背ラベルとして本の背の部分についています。右のような2段のシールになっています。



上段：分類記号 下段：図書記号

<裏も見てね>



3. 岐阜市立図書館だけのルールもあるの？

日本十進分類法だけでなく、図書館ごとのルールで本を分けることもあります。

岐阜市立図書館では、特別に配置されている本が一目でわかるように、アルファベットの記号を使用しています。

これは別置記号です。

- G : 郷土資料
(岐阜についての本。貸出禁止の本もあるよ)
- YA : ヤングアダルト (中高生向けの本だよ)



これは
かじだし
できない
本のしるし

また、分類記号をアルファベットに置きかえているものもあります。

- F : 日本の小説 (明治時代から)
- E : 絵本

ここに取り上げた例は一部です。このほかにも見慣れないアルファベットが付いているものがあれば、図書館の人に聞いてみてくださいね。

4. それぞれの分類の場所はどうやって探すの？

それぞれの図書館に分類場所を案内するサインがあります。図書館の人に聞いたり、自分で探したりしてみましょう。



ちゅうおう
中央図書館児童書の
コーナーには、このような
サインがあります。

お問い合わせ：岐阜市立中央図書館 058-262-2924

HP : <https://g-mediacosmos.jp/lib/>